



神戸学園都市 ワイズメンズクラブ



THE Y'S MENS CLUB OF GAKUENNTOSHI
THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

2023年4月（通巻346号）

- ・神戸学園都市クラブ会長：杉本隆人：「日々新たなり」 New reforms everyday
- ・国際会長：Ulik Lauridsen（デンマーク）：「輝かそう、あなたの光を」 ‘Let your Light Shine’
スローガン「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」
Good Communication Is the Cornerstone in Every Cooperation
- ・アジア太平洋地域会長：Shen Chi-Ming（台湾）：
「新しい時代とともに、エレガントに変化を」 Elegantly Change with New Era
スローガン：「今すぐ実行を」 Doing It Right Now
- ・西日本区理事：田上 正（熊本むさし）：
「原点を知り将来に生かす」 Know the Origin and utilize it in the future!
副題：「立ち上がれ、ワイズモットーと共に！」
- ・六甲部長：若林茂幸（宝塚）：
「困難なときにこそ YMCA と共に進もう」 Let's proceed with YMCA in difficult times

4月 第1例会

日時：2023年4月20日(木)18:00～

場所：西神戸YMCA学園都市

<プログラム>

- ・開会点鐘
- ・ワイズソング
- ・メンバートーク
- ・ハッピーバースデー
- ・報告
- ・閉会点鐘

4月誕生者

なし

3月の出席状況

第一例会	5名
事務例会	7名

[役員] 会長：杉本隆人、直前会長：田辺征一、書記：内田邦彦、会計：中村 剛、連絡主事：櫻井英治

[委員] 地域奉仕・環境：森本哲男、Yサ・ユース：柴田昌一、交流：田辺征一、辻本邦子、ファンド：

丹家元陽、野呂隆、EMC：田辺征一、広報・ブリテン：田辺征一、メネット：合田洋子、

メール委員：杉本隆人

[西日本区役員] JWF 委員：杉本隆人 [IBC]台湾高雄ポートクラブ（2004年1月締結）

[DBC]東京武蔵野多摩クラブ（2011年6月締結） [DBC]岡山クラブ（2018年6月締結）

神戸学園都市クラブ 〒651-2102 神戸市西区学園東町2-1-3 TEL 078-793-7402、FAX 078-793-7470
第1例会：第3木曜日、事務例会：第1木曜日、

会 長 通 信

会長 杉本隆人

今期テーマ「日々新たなり」

人生の勝負は、後半にありと本気で認識しましょう！！

人生百年時代を生きる心得というタイトルで田中真澄氏が「致知」の中で言われていることを抜粋して紹介しつつ、どう生きるべきかを考えてみたいとおもいます。絶えざる基本徹底が80%と絶えざる自己革新が20% 生きる基本である「心構え」を毎日磨くことと自己革新の気持ちを持ち続けることが大切であると言われていています。

絶えざる自己革新とは、「専門形成力」と「良客形成力」を時代の変化に対応して革新し続けること。そして幸いにも「心構え」を磨いていけば、「絶えざる自己革新」は自然に身に備わっていくものだと、「心構え」が機関車の役割を担っているのだと。

ところが、周りにばかり関心を寄せ、この大切な二つの条件を軽視するか無視して、周りに合わせることだけに終始していると、後半の人生において勝負しようとする時に、自分に生きる力がないことに気づき、大いに後悔することになります。

日本の多くの人々は、未だに人生の勝負は前半にありと考えているということです。そのためにせつかく後半の人生が長くなりつつある今日、それに応じた自分の能力を開花させることなく、無為無策のまま漫然と過ごしている人が実に多いのです。これは、何とも勿体ないことではないでしょうか？

この事態を打破するには、人生60歳からが勝負という新たなる人生観の下に、後半の人生で自分に懸けるといふ挑戦をしていけばいいのです。

次の二つの考え方を身につけて新たな行動に踏み切りませんか。

一つ目は、「人間の能力開発は、いつからでもスタートできる」と知ることです。人間の能力は年齢に関係なく伸び続けていくことが科学的に証明されています。

二つ目は、あれこれもと欲張らず、身の丈に

合った地道な生き方、すなわち「小欲、知足」の精神を抱き、「一点集中・こつこつ」「目立たず、無理せず、背伸びせず」の生き方を選ぶことです。それが長くなった人生を楽しく生きていくコツであると！！

いくつになっても、日々コツコツと小さなことから挑戦して生きましょう。

<第2回評議会報告>

3月18日(土)、神戸YMCAチャペルで開催された2022-2023年度六甲部第2回評議会に杉本と田辺が出席しました。会の成立条件をなんとか超える43名の出席を得ての開催でした。

若林部長および長尾会計の中間報告に続いて各事業主査および各クラブ会長による中間報告があり、その中で、今期、天に召された山口政紀ワイズ(西宮クラブ)山口徹ワイズ(神戸クラブ)を偲んで全員で黙とうの時を持ちました。

協議事項として若林部長から出された「次々期部長推薦の件」および「部役員選出規定改正の件」がそれぞれ満場一致および多数決で可決されました。

次期部長の井出浩ワイズより部長主題「YMCAとのさらなる協働を目指して」を実現すべく、予定されている活動方針および活動計画が報告されました。

会の終了後は三宮での懇親会で楽しい交流のひと時を持つことができました。



杉本会長によるクラブ活動報告

<3月例会報告>

日時：2023年3月16日(木) 18:30~19:30

場所：西神戸YMCA 多目的室

出席：柴田、杉本、田辺、中村、野呂

ゲスト：丸山邦代インストラクター

YMCA ヨガ教室受講生5名

昨年に引き続き今年も丸山さんによるヨガ教室を開催することができました。床にマットを

敷いて筋肉や関節のほぐしから始まり少し高度のストレッチまで約1時間、会場のあちこちから“アイタター！、アイタター！”のうめき声が聞こえました。

高齢化の進む我がクラブの面々、私も含めて身体は徐々に硬くなり、筋肉や関節の衰えを覚える今日この頃ですが、身体を少しでも若々しく保つことは健康寿命を延ばすためにも大切なことと思われまます。

私はYMCAウエルネスの会員として水泳やマシントレーニングで体力維持に努めています、丸山さんのヨガ教室にトライしてみます！

(田辺征一)



< 4月事務例会報告 >

日時：2023年4月6日（木）18：00～19：15

場所：西神戸YMCA

出席：内田、櫻井、柴田、杉本、田辺、丹家、中村、野呂

1. 報告事項

- (1) 3月18日 評議会開催 田辺ワイズ、杉本が参加、終了後懇親会参加
- (2) 4月8日(土)地域奉仕・環境事業として「クリーンアップウオーキング」を実施する予定 参加者募集
午前10時神戸市役所前集合、午前11時半神戸YMCAにて解散予定（東遊園地の記念植樹会場と加納町までの周辺のゴミ拾い）
- (3) 西日本区大会の申込、早割り期間が3月31日までとなり登録費は、23,000円となっています。
- (4) 神戸YMCA 留学生スピーチコンテスト協賛の礼状を受け取りました。
- (5) 宝塚ワイズメンズクラブ 35周年記念例会
2023年5月21日（日）午後2時開演
入場料 1,500円（10枚限定）
- (6) 神戸クラブ 4月例会案内

4月11日（火）18:30～20:00

次世代に向けての子育て支援 遠藤誠之先生
Zoom有

2. 協議事項

(1) 4月例会は、4月20日(木)18:00～19:30

当初予定の「医食同源について」は講師の都合が悪くなり、急遽「メンバートーク“今更聞けないワイズメンとは”」に変更。

日頃、疑問に思っていること、わからない点などありましたら事前にお知らせください。

(2) 留学生支援活動、4月7日に実施、参加者募集（最終回）

(3) 5月例会について DBC3クラブ合同例会のテーマと進行方法について

現段階では岡山クラブからの返事待ちですが、限られた時間での企画として考えられるテーマと自己紹介の仕方について

3. YMCA報告

人事異動 横山氏が三宮へ、松田氏 退職

< 留学生支援活動報告 >

コロナ渦の中で留学生たちが困窮していることから、何か支援することはできないかという思いからスタートした支援活動ですが、コロナ感染拡大も収まりつつあり、通常活動が出来る状況となり、今回で、ティッシュペーパー、トイレットペーパーの支援活動も一旦終了することとなりました。

今回は、進入学生を中心として、日常生活品の配給とともに支援活動をしてきましたが、みんな元気でフレッシュマンらしい学生で一瞬で配給することが出来ました。

本当に皆様のご協力のもとに支援活動することが出来ましたことを感謝申し上げます。

(杉本隆人)



担当の鐘さんとともに準備しました



配布風景



新入生の後ろに元連絡主事の横山ワイズがいます。



クリーンアップウォーキングは全員がイエローベストを着て、加納町までふた手に分かれ道路周辺のゴミを拾い集めました。ときには街の人から“ごくろうさま！”と声を掛けられ、集めたゴミは大きなゴミ袋2つがいっぱいになりました。

当日の参加者は7クラブから24名、学園都市クラブからは柴田と田辺が参加しました。当日は好天に恵まれ、良い交流の時を持つことができました。企画から準備までお世話になったCS主査の広瀬ワイズ（西宮ク）、次期主査の阪本ワイズ（神戸西ク）に感謝します。

<クリーンアップウォーキング報告>

4月8日(土)10時、神戸市役所前に集合。ウォーキングに先立ち、新しく整備された東遊園地で2月に植樹したワイズ100周年記念桜の前で記念撮影。



聖書の小窓

「もったいないから」

「パンの屑と魚の残りを集めると、十二の籠にいっぱいになった。」

(マルコによる福音書 6 章 43 節)

イエスの奇跡に有名な五千人の給食があります。「五つのパンと二匹の魚で大勢の群衆に食べ物を与えなさい」と弟子たちに命令され五千人以上の人食べて満腹し、残りは十二の籠にいっぱい残ったというのです。

早朝にゴミ収集車がやってきます。朝から何回もやってきます。私たちは毎日、大量のものをゴミとして出しています。ゴミ収集車の後ろに「もったいない」と書いてありました。手書きの大きな文字でインパクトがありました。この言葉がゴミ収集車に書いてあることに教えられました。大量のゴミは果たしてゴミなのか。ゴミでないものをゴミにしてしまっている。そんな「もったいない」ことをしてはいないか。そう問いかけられました。

五千人の群衆を五つのパンと二匹の魚で満腹されたとき残ったものがありました。それを翌朝生ごみとして捨てたのでしょうか。祝福された食物として持ち帰り大切に食べたでしょう。神の手が触れ祝福された食べ物ですから、私たちワイズも与えられているものを無駄にしてないかと問われています。

西日本区チャプレン 立野 泰博